

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 3 月 19 日 (2020.3.19)

【公開番号】特開 2018-126401 (P2018-126401A)
 【公開日】平成 30 年 8 月 16 日 (2018.8.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-031
 【出願番号】特願 2017-22654 (P2017-22654)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 4 日 (2020.2.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数種類の図柄が表示された複数の回胴を有し、各回胴の停止時の図柄の組合せにより遊技結果を導出表示する遊技結果表示手段と、

所定のゲーム開始条件の下、各回胴を回転させるための始動手段と、

前記始動手段の始動操作を契機に、少なくとも第 1 特定役と第 2 特定役とを含む複数種類の役に関する抽選を行い、当選役を決定する役抽選手段と、

各回胴のそれぞれに対応して設けられ、前記回胴の回転を個別に停止させるための複数の停止手段と、

前記停止手段の停止操作を契機に、前記当選役に対応する図柄の組合せが前記遊技結果として導出表示されうるように回胴を停止制御する停止制御手段と、

前記停止手段の停止操作に係るアシスト報知不許可状態中に所定の移行条件が成立した場合、当該アシスト報知不許可状態からアシスト報知許可状態へと移行制御する遊技状態移行制御手段と、

前記アシスト報知許可状態中に所定の特典付与条件が成立した場合、遊技者に有利な特典遊技に制御可能な特典遊技制御手段と、

前記アシスト報知許可状態の遊技回数に対応して更新可能に記憶する第 1 記憶手段と、
を備え、

複数段階に変更可能な設定値に応じて遊技者の有利度合いが異なるように構成され、前記遊技結果に応じた遊技価値を付与可能に構成された回胴式遊技機であって、

前記特典遊技制御手段は、

前記特典遊技実行中に複数ある所定の終了条件のうちいずれかを満たした場合、当該特典遊技を終了可能であり、

前記特典遊技実行中に所定の延長条件を満たした場合、当該特典遊技を延長可能であり

、

前記複数ある所定の終了条件には、前記第 1 記憶手段に記憶された値が第 1 所定値に達した場合が含まれ、

前記特典遊技の終了条件となる前記第 1 所定値は、前記特典遊技の延長の有無によらず一定であり、

前記特典遊技実行時において、所定の延長規制条件を満たした場合、当該特典遊技が終了するまで新たな延長を行わず、

前記所定の延長規制条件を満たした場合、前記設定値を示唆する設定示唆演出を実行可能である、

ことを特徴とする回胴式遊技機。

【請求項 2】

前記特典遊技実行時において前記所定の延長規制条件を満たした場合、当該所定の延長規制条件を満たしたことがわかる到達用演出を実行可能である、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の回胴式遊技機。

【請求項 3】

前記所定の移行条件には、前記第 1 特定役に当選した場合、または、前記第 2 特定役に当選した場合、が少なくとも含まれる、

ことを特徴とする請求項 2 に記載の回胴式遊技機。

【請求項 4】

前記所定の延長条件には、少なくとも前記第 1 特定役に当選した場合が含まれ、

前記特典遊技実行時において、所定の限界値到達条件を満たした場合、段階的に前記特典遊技の延長を規制可能であり、最終段階では当該特典遊技が終了するまで新たな延長を行わない、

ことを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の回胴式遊技機。

【請求項 5】

前記到達用演出には、前記設定示唆演出が含まれる、

ことを特徴とする請求項 2 ～ 4 のいずれかに記載の回胴式遊技機。

【請求項 6】

前記到達用演出の実行中に前記第 1 特定役に当選した場合、前記設定示唆演出を実行可能である、

ことを特徴とする請求項 2 ～ 4 のいずれかに記載の回胴式遊技機。